



双塔

カトリック新潟教会

2021年10月
No. 401

おとめマリアのロザリオ

教皇 ヨハネ・パウロ2世

平和と家庭のための祈り

多くの歴史的事情もまた、ロザリオの復興にきわめて現代的な意味を与えています。その第一は、神に平和のたまものを願わなければならないということです。わたしの前任者もわたし自身も、ロザリオを平和のための祈りとして唱えることを繰り返し勧めてきました。2001年9月11日の戦慄すべきテロで幕を開け、毎日世界中のいたるところで生々しい流血と暴力がみられるこの千年期の初めにあって、ロザリオを再発見するとは、「わたしたちの平和であり、二つのものを一つにし、敵意という隔ての壁を取り壊す」（エフェソ2・14）かたであるキリストの秘義を全身全霊でもって観想しようとするにほかなりません。それゆえ、自分が平和を実現する務めを負っていると感じることなしに、また、大きな苦難にあり、とりわけキリスト者の心にとってもっとも親しい地である、ナザレのイエスの地に特別な注意を払うことなしにロザリオを唱えることなどありえないのです。

同じような行動と祈りの必要性が、家庭という、もう一つの現代的な問題から生じています。この社会の第一の細胞が、思想と実生活の両面でますます崩壊への力に脅かされているために、この基本的で欠くことのできない制度の未来が、それとともに社会全体の未来が、危険にさらされています。家庭に対する広範な司牧的奉仕の一環として、ロザリオをキリスト者の家庭の中で唱えることを復興することは、この現代的危機の破壊的な力に対して戦うための有効な助けとなることでしょう。「見なさい。あなたの母です」（ヨハネ19・27）

マリアとともにキリストを思い起こす

マリアの観想は何よりも「思い起こすこと」でした。わたしたちはこのことばを、聖書的な意味で理解しなければなりません。すなわち、思い起こす（ザーカル）とは、救いの歴史において神が行われたわざを現在化することです。聖書は救いをもたらす出来事を物語っており、それはキリスト自身において頂点に達します。これらの出来事は「きのう」のことだけでなく、救いをもたらす「今日」のことでもあります。そして、このような現在化は何よりも典礼において行われるのです。神が何世紀も前に成し遂げられたことは、その恵みのたまものを通じてあらゆる時代の人々にかかわり続けるのであって、それらの出来事を直接見た人だけに限られるわけではありません。このことは、ある意味で、こうした救いの出来事に近づこうとする他のあらゆる信心業についても同じようにいうことができます。信仰と愛の精神をもってそれらのことを「思い起こす」ことは、キリストがその生と死と復活の秘義によってわたしたちのために勝ち取ってくださった恵みに向けて、わたしたちを開かれたものとするのです。

(2002年10月16日)

●成井司教様にQ & A

9月22日に司教叙階一周年を迎えられた成井司教様。なかなか聞けないざっくばらんな質問に答えていただきました。

A: まず最初に、感謝の言葉を伝えさせてください。一年前、コロナ禍であるにも関わらず、これ以上ないほどあたたかく私を迎えてくださったことに心から感謝しています。様々な自粛が続く中で、お話をしたりする機会が取れないのは残念ですが、皆で犠牲して、祈り合い、協力のうちに教会活動を続けているということが、また違う形での大切な分かち合いになっていると感じています。ありがとうございます。

Q: 好きな食べ物は何ですか。

A: 何でもおいしくいただきますが、ゴボウのきんぴらとか好きですね。そして、司教館名物カレー！

Q: 好きなお酒は何ですか。

A: ビールやワインを飲みますが、新潟に来て日本酒を覚えました。師匠は大瀧神父様です。

Q: 好きな映画は何ですか。

A: 私は映画は見ないのでよく分かりません。

Q: 好きな音楽は何ですか。

A: 車を運転している時、よくレイ・チャールズを聞いています。眠くなりません。あと、海外の教会でミサにあずかった時に歌われていた聖歌を自分で録音したものを聞いています。言葉の違い、表現の違い、背景の違いが豊かさを伝えていて、心動かされます。

Q: 好きなスポーツは何ですか。

A: 若い頃は野球、サッカー、スキーなどやっていましたが、ここ20年ほど全く運動していません。

Q: 今年は東京オリンピック、パラリンピックが開催されましたがご覧になったかと思いますが、何を感じましたか。

A: テレビはたまにニュースやドキュメンタリーを見るくらいなので、オリンピックもニュースで少し見たくらいです。色々な国や地域の人が様々な思いを持って集まって何かを一緒にやるのは素敵なことだと思います。

Q: 聖書以外の愛読書は何ですか。

A: 新潟教区100周年の記念誌を度々読みます。新潟教区のことを知るためにも、先輩信徒の方々の思いを

感じるためにも、とても良い本です。

Q: ストレス解消法は何ですか。

A: お風呂に入って寝るだけです。あと、晴れた日に洗濯物を干すと気分も晴れます。

Q: 1年弱新潟に住んでみて、感じたことは何ですか、また困ったこと(もしくは困っていること)はありますか。

A: 新潟に来た時にはコロナ禍が始まっていたので、まだあまり人にも、場所にも、物にもふれあえていないのが残念です。しかし、例えば車を運転していたり、スーパーで買い物する時など、譲り合うことが度々あり、親切な方が多いと感じています。

Q: 覚えた新潟の方言はありますか。

A: 「じよんのび」です。響きも意味もとても好きな言葉です。

Q: 神学校時代の得意な科目、苦手な科目は何でしたか。

A: 例外無くすべての科目が苦手でした。学校は散々でしたが、毎週野宿者、移民支援ボランティアなどの活動に力を入れていました。

Q: バチカンはどこなところですか。

A: これは難しい質問ですね。私はローマにいたとき神言会の本部、つまり修道会の仕事をしていたので、バチカンとのやりとりはあまりありませんでした。しかし、特定の社会問題、例えばある地域の環境破壊や人権侵害について、バチカンの人間開発のための部署と意見交換はしていました。それで感じたのは、この部署は開かれた姿勢で情報共有し、また修道会や市民団体と協力して活動を進めていく組織的な仕組みをしっかり持っているということです。

Q: 今まで様々な海外の国へ訪問されたと思いますが、印象に残っている国や、良くも悪くも印象に残った出来事はなんですか。

A: 特に印象に残っているのはモンゴルですね。どこでも見たことの無いような大草原と、冬の厳しい気候、そこにテントを立てて生活する遊牧民の一体感は、「被造物の調和」をそのまま生きていると思わせる、感動的なものでした。出来事としては、多くの国で先住民の生活の場が大規模な開発や政治的な理由などで脅かされているということです。何百年もそこで自然と共に生きている人たちが、数年間の経済的利益のために自然を破壊し、去って行く人たちによって追い出されているのです。

Q: 現在、コロナ禍でミサに行けない方に何か一言。

A: コロナ禍が始まり、教会でのミサを始め、様々な社会活動が思うように実施できなくなりすでに1年半も経ってしまいました。こんなに長い間ミサに参加することができないというのは、信仰生活を送る上で大変辛いことですし、生き方のリズムが狂ってしまうような、人生における一大事だと思います。神は、わたしたちが厳しい状況にある時、特別にわたしたちを心にかけて、ともにいてくださいます。神に希望を置いて、互いに祈りによって支え合い、日々歩んで参りましょう。皆様のためにお祈りしております。

●年間第23主日英語ミサ 9月5日(日) 12時

夏の暑さもやわらぎ、爽やかな晴天に恵まれた9月5日、新潟教会では初めての成井司教様司式による英語ミサが行われた。毎月第1主日の正午から始まる英語ミサには、フィリピン、アメリカ、中南米、アジア、アフリカの国々など、世界の様々な地域出身の信徒が集まり、一つの信仰のうちに共にみことばを聞き、主の食卓に与っている。

この日は「被造物を大切にす世界祈願日」とマザーテレサの祝日にあたり、開祭の中で愛と奉仕の模範であるこの聖人のとりなしが願われた。

説教に入ると、司教様は第1朗読と福音に示された「聞こえない」という言葉に言及され、日本語が分からないまま来日したであろう信徒たちと、言葉の壁を感じながら過ごされた御自身のインドネシアでの子供時代に、この「聞こえない」という状態が類似していると話された。他者と理解し合い、思いを共有することのできない状況は痛みを引き起こす。しかし、神は、その関係性の問題から私たちを「救い」、他者との関わりを「開いて」くださる。関係性は一方的なものではなく相互的なものであるから、私たちは皆、隣人や自然、そして神に対して自分自身を開くよう招かれている、と語られた。

また、「すべてのいのちを守るための月間」を過ぎすにあたり、人間は時に自分たちが被造物の主であるかのように振舞っているが、実際はただそれを守り、世話する役目を託されているだけである、と歯止めがきかない昨今の環境問題にも触れ注意を促された。わたしたち自身の命についても、それは決して「わたしのもの」なのではなく、神から与えられた贈り物なのだから、神が一人ひとりに望んでおられることを行うことが大切である、と神のみ旨に従うことの重要性を示された。

最後に司教様は「他者に対して自分を閉じることのないように」と呼びかけられ、「神は常に『エッファッタ』と言っておられます。」という言葉で説教を結ばれた。

いつものように会衆を見て丁寧に話される成井司教様の姿から、その誠実で柔和なお人柄が皆に伝わってくる。御ミサの後には、青空の下で司教様と和やかに言葉を交わす外国人信徒たちの姿が見られた。

●フードバンクにいがたへの寄付の協力をお願い

(新潟カトリック女性の会)

日ごろは弊会の祈りや活動にご理解とお力添えを下さり有難うございます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で女性や子どもの貧困が今まで以上に深刻になっています。弊会役員会での検討の結果、今年度の活動として食のセーフティーネット(安全網)とフードロスの削減に取り組むNPOフードバンクにいがたへの食料品や日用品の寄贈を行うことにいたしました。信徒の皆様のご賛同とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

(1) NPO フードバンクにいがたの主な寄贈先

パーソナルサポートセンター(生活困窮者のための相談機関)、児童福祉施設、困窮者支援団体、障害者支援施設、母子支援団体、地域包括支援センター、社会福祉協議会(県市町村)、こども食堂など

(2) 寄付品

- ① 食品: 常温保存が可能で賞味期限が2022年1月以降の未開封の食品
(例) お米、缶詰、レトルト食品、乾麺類、調味料、お菓子、ジュース
- ② 日用品: 消費頻度の高いもの、消費量の多いもので未使用・未開封の商品
(例) 洗剤、シャンプー、リンス、ボディソープ、トイレットペーパー、生理用品、衛生用品(アルコール除菌液、使い捨てマスク)

(3) 寄付品募集の実施

- ① 日時: 10月3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)の各主日。
いずれも7:00のミサ後~12:00
 - ② 場所: (晴天日)カトリックセンター軒下、(雨天日)カトリックセンター会議室
- (4) お問い合わせ: 女性の会役員(石川、野村、橘)までお声かけください。

♪♪♪ インフォメーション! ♪♪♪

★各勉強会、講座に参加される場合は必ずマスクを着用してご参加ください

●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 ラウール神父

●はじめて教会を訪れる人のための聖書勉強会

ご希望の方はラウール神父までご相談ください。

●信仰養成講座「知ってるつもり!?!」

日時 10/9(土) 午前10時～11時 会場 カトリックセンター研究室
指導 主任司祭 ラウール神父

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 10/25 時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂
主日のミサと同様、コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。

●新潟地区信仰養成講座

日時：10/30(土) 13:30～15:00 会場：新潟教会聖堂

講師：成井大介司教様 演題：「シノドスと新潟教区の優先課題」

参加希望者は、聖堂に設置した参加申込書に氏名を記入してください。

申込締切は10/3(日)12:00とさせていただきます。

人数の制限がございますので、後ほどご参加可能かお知らせいたします。

なお、当日はビデオ録画を行いますので、新潟教会のYouTubeチャンネルで視聴できます。

●聖堂出口付近に関するお願い

ミサ後、出口付近でお話しされますと混雑してしまい、密集状態になりかねません。お話しされる場合は、聖堂を出た後にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

●季刊双塔「王であるキリスト号」への原稿を募集しています(広報部)

11月に季刊双塔「王であるキリスト号」を発行予定です。原稿の募集箱が聖堂の後ろに常設されています。ぜひ、皆様の思いや感じていることを思いのままに文章にしてお寄せください。メールでも受け付けています。よろしくお願いいたします。

締切 10月10日(日)

●インフルエンザの予防接種について

今年のインフルエンザの予防接種の日程が決まりました。

日時：10月31日(日)9時半ミサ後 接種料金：65歳未満¥2,500、65歳以上¥1,500

接種希望者は事前に体温を測ってきてください。発熱や体調不良のある方は、ご相談ください。

2021年10月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等	教会の行事
1日(金)	すべてのいのちを守るための 月間(9/1~10/4)	
3日(日)	年間第27主日	<ul style="list-style-type: none"> ・小教区評議会(9:30 ミサ後) ・ロザリオの祈り(10:30 雨天中止) ・英語ミサ(12:00) ・ロザリオの祈り(英語ミサ後) ・センター&外のトイレ清掃(ロザリオの祈りの後)
9日(土)	聖マリアの誕生(祝)	<ul style="list-style-type: none"> ・信仰養成講座「知ってるつもり?!」(10:00 研究室)
10日(日)	年間第28主日	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部会(9:30 ミサ後 研究室) ・ロザリオの祈り(10:30 雨天ミサ後)
17日(日)	年間第29主日	<ul style="list-style-type: none"> ・聖堂、センター&外のトイレ掃除(各ミサ後) ・ロザリオの祈り(10:30 雨天中止) ・広報部会(9:30 ミサ後)
18日(月)	聖ルカ福音記者(祝)	
24日(日)	年間第30主日 世界宣教の日(献金)	<ul style="list-style-type: none"> ・寺尾墓地清掃(9:30 ミサ後) ・ロザリオの祈り(10:30 雨天中止)
28日(木)	聖シモン 聖ユダ使徒(祝)	
30日(土)		<ul style="list-style-type: none"> ・地区信仰養成講座(13:30~15:00) 新潟教会聖堂 演題:「シノドスと新潟教区の優先課題」 講師:成井司教様)
31日(日)	年間第31主日	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種(9:30 ミサ後) ・教会維持費の整理(9:30 ミサ後 事務室) ・国際協力部会(10:00~ 研究室) ・ロザリオの祈り(10:30 雨天中止)

※「教会の行事」が変更される場合は、日曜日毎に発行の「お知らせ」などでお伝えします。

※ ミサ時間:主日日曜日(7:00 9:30 11:00) 英語ミサ(第1日曜日 12:00)

週日(7:00、金曜日のみ10:00)

月刊「双塔」毎月1回 最終日曜日発行 編集・発行/カトリック新潟教会 小教区評議会 広報部

カトリック新潟教会 〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656
<http://cathedral-niigata.jp/> TEL025-222-5024 /FAX025-222-5054

